

## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 秋川牧園

コード番号 1380 URL <http://www.akikawabokuen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋川 正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 林 英明

TEL 083-929-0630

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,052	△2.9	△27	—	△29	—	△30	—
22年3月期第2四半期	2,113	1.7	14	—	7	—	2	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△7.28	—
22年3月期第2四半期	0.51	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
23年3月期第2四半期	3,942		1,246		31.6		298.67	
22年3月期	3,712		1,294		34.9		310.17	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,246百万円 22年3月期 1,294百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期 (予想)			—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,187	△3.0	47	△28.2	40	△26.5	16	△39.7	3.83

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有  
新規 1社（社名 有限会社 篠目三谷 ）、除外 1社（社名 ）、  
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 4,179,000株 22年3月期 4,179,000株  
② 期末自己株式数 23年3月期2Q 5,638株 22年3月期 4,639株  
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 4,173,695株 22年3月期2Q 4,175,329株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善や経済対策などを背景に景気の持ち直しが期待されたものの、海外経済の減速懸念、急激な円高、雇用環境のさらなる悪化など景気の下押しリスクは消えておらず、依然として厳しい状況にあります。

食品業界におきましても、消費マインドの低下や低価格志向が継続しており、引き続き厳しい経営環境の中で推移いたしました。

このような状況の中、当社の主たる販売先である産直型の生活協同組合及び宅配会社にも節約志向・低価格志向の波が及んでおり、鶏肉の売上高は前年を下回りました。利益面につきましては、鶏肉を使用した冷凍加工食品の売上は引き続き伸張したものの、鶏肉の売上高の減少の影響が大きく、減益要因となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、20億52百万円（前年同期比2.9%減）、営業損失は27百万円（前年同期は14百万円の利益）、経常損失は29百万円（前年同期は7百万円の利益）、四半期純損失は30百万円（前年同期は2百万円の純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (産直畜産事業)

主に産直型の生活協同組合及び宅配会社へ販売している鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵で構成される産直畜産事業につきましては、鶏肉を使用した冷凍加工食品の売上高が引き続き伸張したものの、鶏肉の需要が低迷したため、売上高は減少いたしました。

この結果、産直畜産事業の売上高は、16億97百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は1億51百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

#### (総合宅配事業)

当社の食品を中心に会員宅に毎週商品をお届けする会員制宅配事業「スマイル生活」につきましては、期首との比較では会員数は伸張したものの、前年同期と比べ会員数がマイナスとなったことと、前年は牛乳宅配を含めておりましたが当期は除いたため、売上高は減少いたしました。

この結果、総合宅配事業の売上高は、2億96百万円（前年同期比5.9%減）、営業損失は11百万円（前年同期は4百万円の損失）となりました。（売上高につきましては、前年の牛乳宅配を除いた正味の前年同期比は2.6%減になります。）

#### (牛乳製造卸売事業)

牛乳や乳製品を生産、販売している牛乳製造卸売事業につきましては、今年度に入ってから、採算性に問題のあった量販店等への卸販売の縮小を行ったことにより売上高は減少いたしました。一方、生産農場の(有)むつみ牧場と製造を担う(有)あさかわ牛乳につきましては、稼働率の低下がマイナス要因となりました。

この結果、牛乳製造卸売事業の売上高は、37百万円（前年同期比39.5%減）、営業損失は17百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、2億30百万円増加し、39億42百万円となりました。これは主に(有)篠目三谷を連結子会社にしたこと等により、有形固定資産が2億92百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億78百万円増加し、26億96百万円となりました。これは主に長期借入金が1億36百万円、買掛金が83百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ48百万円減少し、12億46百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、長期借入れによる収入、減価償却費、未収入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ21百万円増加し、6億74百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は65百万円になりました。

これは主として、税金等調整前四半期純損失（29百万円）に対して、減価償却費（73百万円）、未収入金の減少（46百万円）等から、たな卸資産の増加（13百万円）等を控除したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は1億36百万円になりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出(69百万円)、貸付けによる支出(52百万円)、投資有価証券の取得による支出(50百万円)等から、貸付金の回収による収入(24百万円)等を控除したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は92百万円になりました。

これは主として、長期借入れによる収入(2億50百万円)等から、長期借入金の返済による支出(89百万円)、短期借入金の純減額(50百万円)等を控除したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載いたしましたとおり、直近では、鶏肉や宅配事業を中心に販売が回復する傾向が見えてきております。また収益改善を図るため、本年1月からスタートしている「経営力UP10」の内容を強化し、生産性改善、利益率改善、収支構造改善の取り組みをさらに充実、加速するアクションをすでに立ち上げ、進めているところであります。しかしながら上半期のマイナスの影響が大きく、平成23年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は前回発表の通期業績予想よりも1億73百万円減少し、41億87百万円、営業利益は41百万円減少し、47百万円、経常利益は35百万円減少し、40百万円、当期純利益は29百万円減少し、16百万円となる見通しであります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

当第1四半期連結会計期間において、(有)篠目三谷の株式を追加取得したため、連結の範囲に含めております。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性が低下していることが明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③ 法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目等を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	654,134	633,082
受取手形及び売掛金	477,612	439,942
有価証券	20,426	20,419
商品及び製品	60,571	74,734
仕掛品	333,495	317,295
原材料及び貯蔵品	64,323	48,868
その他	189,955	300,570
貸倒引当金	△639	△838
流動資産合計	1,799,881	1,834,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	705,981	673,841
土地	794,901	667,901
その他（純額）	343,948	210,760
有形固定資産合計	1,844,831	1,552,503
無形固定資産		
のれん	102,202	56,731
その他	21,180	21,331
無形固定資産合計	123,382	78,062
投資その他の資産	174,785	247,923
固定資産合計	2,142,999	1,878,489
資産合計	3,942,881	3,712,563
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	375,530	292,223
短期借入金	1,220,000	1,270,000
未払法人税等	6,599	11,402
賞与引当金	31,382	30,144
その他	404,867	348,817
流動負債合計	2,038,381	1,952,587
固定負債		
長期借入金	379,116	242,789
退職給付引当金	161,670	154,575
役員退職慰労引当金	44,658	43,268
その他	72,586	24,579
固定負債合計	658,032	465,213
負債合計	2,696,413	2,417,800

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	554,541	554,541
利益剰余金	△19,410	23,512
自己株式	△3,573	△3,163
株主資本合計	1,245,708	1,289,040
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	759	5,722
評価・換算差額等合計	759	5,722
純資産合計	1,246,467	1,294,762
負債純資産合計	3,942,881	3,712,563

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,113,680	2,052,200
売上原価	1,640,033	1,608,270
売上総利益	473,646	443,929
販売費及び一般管理費	459,611	471,515
営業利益又は営業損失(△)	14,034	△27,585
営業外収益		
受取利息	2,330	1,560
受取配当金	639	769
補填金収入	616	—
保険解約返戻金	—	3,200
還付消費税等	—	3,959
その他	3,827	2,806
営業外収益合計	7,414	12,295
営業外費用		
支払利息	13,795	13,660
その他	68	76
営業外費用合計	13,863	13,736
経常利益又は経常損失(△)	7,585	△29,026
特別利益		
固定資産売却益	431	373
貸倒引当金戻入額	348	200
特別利益合計	780	573
特別損失		
固定資産売却損	1,519	207
固定資産除却損	2,034	1,319
特別損失合計	3,553	1,527
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,811	△29,980
法人税、住民税及び事業税	4,109	6,841
法人税等調整額	△1,624	△6,422
法人税等合計	2,485	419
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△30,399
少数株主利益	175	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,150	△30,399



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,811	△29,980
減価償却費	69,203	73,495
のれん償却額	6,930	7,223
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△396	△200
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,121	208
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,485	7,094
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,301	1,390
受取利息及び受取配当金	△2,970	△2,330
支払利息	13,795	13,660
有形固定資産売却損益(△は益)	1,087	△165
有形固定資産除却損	2,034	1,319
売上債権の増減額(△は増加)	22,772	△267
たな卸資産の増減額(△は増加)	△81,698	△13,007
未収入金の増減額(△は増加)	2,930	46,951
仕入債務の増減額(△は減少)	36,861	△9,198
その他	△1,859	△9,334
小計	89,413	86,859
利息及び配当金の受取額	2,964	2,380
利息の支払額	△13,988	△13,650
法人税等の支払額	△6,713	△9,916
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,676	65,673
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△93,767	△69,387
有形固定資産の売却による収入	3,026	11,304
投資有価証券の取得による支出	—	△50,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	3,502
貸付けによる支出	△13,280	△52,210
貸付金の回収による収入	21,283	24,777
ソフトウェアの取得による支出	△250	△3,030
その他	△1,150	△1,588
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,137	△136,631
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	△50,000
長期借入れによる収入	200,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△69,748	△89,959
自己株式の取得による支出	△438	△409
配当金の支払額	△8,472	△12,383
その他	△5,514	△5,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,826	92,017

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	53,364	21,059
現金及び現金同等物の期首残高	614,259	653,502
現金及び現金同等物の四半期末残高	667,624	674,561

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	製造卸売事業 (千円)	宅配事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,796,629	317,050	2,113,680	—	2,113,680
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	55,107	2,664	57,771	(57,771)	—
計	1,851,737	319,714	2,171,452	(57,771)	2,113,680
営業利益又は営業損失 (△)	131,701	△12,014	119,687	(105,652)	14,034

## (注) 1. 事業区分の方法

事業は、業務の専門性及び業態を考慮して区分しております。

## 2. 各区分に属する主要な商・製品

事業区分	主要な商・製品
製造卸売事業	健康食肉 健康加工食品 健康鶏卵 健康牛乳
宅配事業	健康食肉 健康加工食品 健康鶏卵 健康牛乳 有機農産物 一般健康食品等

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成されており、「産直畜産事業」、「総合宅配事業」及び「牛乳製造卸売事業」の3つを報告セグメントとしております。

「産直畜産事業」は、主に産直型の生活協同組合や宅配会社向けに、鶏肉、豚肉、牛肉、食肉の加工品及び鶏卵の生産・販売をしております。「総合宅配事業」は、当社の食品を中心とした食品と生活雑貨を会員向けに販売しております。「牛乳製造卸売事業」は、牛乳や乳製品の生産・販売をしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	産直畜産	総合宅配	牛乳製造卸売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,697,216	296,888	37,072	2,031,177	21,022	2,052,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48,331	1,479	28,136	77,947	118,593	196,540
計	1,745,547	298,368	65,209	2,109,125	139,615	2,248,740
セグメント利益又は損失 (△)	151,600	△11,383	△17,448	122,768	△18,230	104,538

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、牛乳宅配事業及び物流部門等を含んでおります。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	122,768
「その他」の区分の利益	△ 18,230
のれんの償却額	△ 7,223
全社費用（注）	△124,900
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△ 27,585

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

該当事項はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。